

目次

巻頭言 宗教改革を改革する…………… 大木 英夫 2

特集論文

- 長期議会における宗教と政治
——スティーヴン・マーシャルの議会説教の分析を中心に…………… 松谷 好明 4
- 教区のピューリタニズム
——リチャード・バクスターを中心に——…………… 今関 恒夫 14

論文

- 天皇制国家とキリスト教
——「三教会同」問題を中心に——…………… 西田 毅 28
- マーク・トウェインのゴスペル
——人間本性の探究…………… 朝日由紀子 41
- 近代日本の理想主義と宗教
——土田杏村と吉野作造を中心に——…………… 大木 康充 52
- カルヴァン神学思想の中の現世の位置
——リベルタン批判と創造の秩序…………… 住田 博子 64
- 初期ラスキの政治思想
——ピューリタン革命との関わりで——…………… 柴田 淳平 74

書評

- トマス・ヒル・グリーン (田中浩・佐野正子訳)
『イギリス革命講義——クロムウェルの共和国』…………… 今関 恒夫 86
- 太田哲男『清水安三と中国』…………… 古屋 安雄 88
- ジェームズ・I・パッカー (松谷好明訳)
『ピューリタン神学総説』…………… 袴田 康裕 91
- 『或る女』とアメリカ体験——有島武郎の理想と反逆…………… 大塚 寿郎 93
- 岩井淳編著『複合国家イギリスの宗教と社会——ブリテン国家の創出』…………… 山本信太郎 95

第10回国際ミルトン・シンポジウム…………… 佐野 弘子 98

- 設立宣言 100
学会規約 101
役員一覧 102
投稿規定 103
編集後記 104